

# 令和5年度第1回さいたま市いじめのないまちづくりネットワーク 議事録

- 1 日 時 令和5年7月25日(火) 14時30分～16時
- 2 会 場 ときわ会館 501会議室
- 3 出席委員 沢崎 俊之 神尾 尊礼 松本 敏雄 久世 晴雅 西脇 賢一  
(敬称略) 須藤 明 飯沼 聡 森田真紀子 緒方 健二 根岸 君和  
前橋 力 鈴木 朋憲 小川恵美子 辻村 佳久 栗原 章浩  
若谷ゆたか(長澤和哉委員の代理)
- 4 欠席委員 田中洋次郎 菅野千香子 望月 三之 根本 淑枝 錦織 賢一  
(敬称略) 増永 裕一 八島 健 浅見 正史 富岡 智子 長澤 和哉  
高橋 篤
- 5 事務局 阿部 晴光 子ども育成部長  
高橋 格 子ども育成部子ども政策課長  
金子めぐみ 子ども政策課係長  
武井 悟 子ども政策課主査  
辻本 勇真 子ども政策課主事
- 6 説明者 山本 志織 指導2課主席指導主事兼係長  
寺岡 孝 指導2課主任指導主事  
津田 顕吾 学校教育部参事兼総合教育相談室長  
清水 雄平 総合教育相談室主任指導主事

## 7 議 事

- 1 開会・あいさつ  
あいさつ 阿部 子ども育成部長  
資料確認  
①会議資料  
次第・委員名簿  
資料綴り
- 1－(1) 令和5年度 青少年健全育成事業の取組
  - 1－(2) 令和4年度児童いじめ相談受付件数
  - 2－(1) 市立学校のいじめの現状について
  - 2－(2) 市立学校のいじめ防止等に向けた取組について
  - 2－(3) さいたま市の教育相談体制について  
(参考資料)

- 3－(1) さいたま市いじめ防止対策推進条例
  - 3－(2) さいたま市いじめ防止基本方針
  - 3－(3) さいたま市いじめのないまちづくりネットワーク規則
  - 3－(4) さいたま市いじめのないまちづくりネットワーク運営要綱
- ②青少年育成さいたま市民会議設立 20 周年記念 令和 4 年度「青少年の主張大会」記録集
- ③ポスター「地域＋学校＋保護者＝見守る絆」（久世委員から提供された資料）
- ④いじめ防止啓発品（ウェットティッシュ、クリアファイル）

## 2 委員の委嘱

## 3 委員自己紹介

## 4 委員長、副委員長の選出

委員長：沢崎 俊之 委員

副委員長：久世 晴雅 委員

## 5 協議

### (1) いじめ防止のためのさいたま市の取組について

#### ①全体的なこと及び本ネットワークの役割について

○参考資料 3－(1)、3－(2) により、子ども政策課から説明

#### ②市長部局の取組について

○資料 1－(1) により、青少年健全育成事業の取組について、子ども政策課から説明

○資料 1－(2) により、令和 4 年度児童いじめ相談受付件数について若谷委員代理から説明

<質疑・応答>

特になし

#### ③教育委員会の取組について

○資料 2－(1)、2－(2) により、指導 2 課から説明

・いじめの認知件数について報告。件数が増加している理由としては、各校が積極的にいじめを認知し、早期対応、迅速・適切な対応をしているためと認識している。

・いじめ防止の取組として、「さいたま市子ども会議」、「いじめ防止シンポジウム」について説明。今年度の「いじめ防止シンポジウム」は 8 月 24 日に開催予定。

○資料 2－(3) により、さいたま市の教育相談体制について、総合教育相談室から説明

・学校における教育相談組織、市内の教育相談室、24 時間子ども SOS 窓口、SNS を活用した相談窓口、不登校児童生徒支援センター（Growth）の取組について説明。

<質疑・応答>

(久世委員)

件数などのデータだけでなく、こんなことがいじめに当たるとか、こんなことで悩んでいる、学校はこれだけ大変なんだと、具体的なことをお話ししてほしい。いじめについて具体的な事例があったら紹介してほしい。また、不登校についても何で不登校になるのか、具体的なことをお話ししてほしい。

(沢崎委員長)

いじめについて具体的な情報も共有してもよいのではないかとということだが。

(事務局)

個人情報の取扱いに配慮したうえで可能な範囲でお願いしたい。

(指導2課)

様々な事例がある。最近では、携帯電話の利用に伴ういじめが多い。また、相手はいじめている意識がないが、された子が苦痛を感じるケースが多い。例えば、小学校低学年で、後ろから小突いて、相手が「いやだ」と言えばいじめとなる。できるだけ早い段階で認知し、対応することが重要であると、先生方に事あるごとに説明している。

(久世委員)

子どもたちが所持する端末によるいじめの内容とか、具体的な事例について、お話ししてもらえないか。

(指導2課)

情報の取扱いについて配慮しなければならないので、あまり具体的なことは話せないが、一人1台の端末でのいやがらせなど、直接的なものより、そういうものが増えていく。画像を本人の許可なく拡散してしまう、LINEのグループから一人だけ外してしまう等の事例がある。

(久世委員)

そういう情報は、学校ではどうやってキャッチしているのか。

(緒方委員)

児童には、日ごろから信頼できる大人に相談するよう話したり、指導したりしているので、保護者や担任がキャッチすることがほとんどである。

(松本委員)

久世委員からも発言があったが、教育委員会には、もう少し具体的な事をお話ししてもらいたい。現場の学校でも困っているという声を聞く。各地域、学校では、民生委員・主任児童委員にどうしてもっと情報提供しないのか。個人情報保護の観点からか、具体的な事例について、地域に流れてこない。社会全体で関わって、民生委員・主任児童委員のような人を信用して、相談、情報交換しながらいじめ問題に対応していかないと、いじめ防止の効果が発揮できないのではないか。

(委員長)

地域、行政との関係、本ネットワークのあり方についての意見として、今後には生かしていきたい。

(前橋委員)

昨年度まで勤務していた学校での状況としては、複数対一人でのいじめが多かったと感じる。物がなくなる、隠される等の事例があった。

民生委員・主任児童委員への情報提供については、各校で連絡協議会を実施している。コロナでしばらく情報交換の機会がなくなっていたが、最近は復活している。各地域で情報提供して、連絡、相談する雰囲気は少しずつできている。

(総合教育相談室)

先ほど質問のあった不登校の要因、きっかけについては、調査上は、「無気力・不安」が一番で、次が「生活リズムの乱れ」、その次が「友達関係等」となっている。しかし、これは30日以上欠席した児童生徒について、分類した結果であり、その前に何らかの「きっかけ」があると考えている。学業や学校生活のスピードについていけないことから不安になり、友達関係にも影響を与え、自信をなくしている子が多いのではないかと感じている。中1ギャップという言葉があるが、中学生になり、自分に合ったペースで学習を進めることができないケースがある。そこで、Growthでは、自分に合ったペースで学習できるような支援を行っている。

(久世委員)

不登校になる前に、いじめやいやがらせがあるのではないかと。どんな原因からいじめが起きるのか、案外、ちょっとしたところからいじめになることもあるのではないかと。学校評議員には、もっと情報を出してほしい。学校から「こんないじめがある」と話してほしい。相談があれば、地域として解決につながるものが何かできるのではないかと考えている。そういう話をするのがこのネットワークではないかと考えて先程発言をした。

(沢崎委員長)

各学校からの情報提供にも学校によって違いがあり、問題があるということか。

(副教育長)

教育委員会が情報を表に出さないと地域が解決のために力になれないという趣旨は良く分かる。教育委員会としては、抱えている事案も多々あり、情報の取扱いに関してはかなり慎重になっていることも理解していただきたい。情報の出し方については、今後、事務局とも相談しながら検討していきたい。

## (2) 各団体の取組、子どもの状況について

(沢崎委員長)

各団体の取組、子どもの状況に移る。初めに学校におけるいじめ防止の取組、子どもの状況について紹介してほしい。

(緒方委員)

この1週間に、2件同じようなトラブルがあり、指導して保護者に伝えた。1件はおさまったが、1件はおさまらなかった。保護者同士が事前に知り合いであったかどうかに関係しているのではないと思う。学校行事や地域のお祭りなど、保護者同士が知り合う機会が減ってしまったことが影響していると思う。

(根岸委員)

相手のいやがることを認識できないことが問題。相手の立場に立って考えるよう指導している。

いじめ防止の取組と同時に、いじめは起きることを前提として、居場所の複数化、逃げ場の案内もすることが必要と考えている。

(前橋委員)

本校では、いじめの件数は0である。

いじめ防止の取組としては、6月のいじめ撲滅強化月間に、学級スローガン・ポスターの作成、掲示、生徒会によるいじめ撲滅の呼びかけ、児童生徒へのアンケートの実施、昇降口へのベストショット（笑顔の写真）の掲示を行った。また、小・中・高等部の交流、教員向け研修会を実施した。

(沢崎委員長)

次に、事前に情報提供下さった委員からの発言をお願いします。

(須藤委員)

不登校支援の第一の目標は社会的自立とされているが、具体的な手立てが十分示されていないと思う。不登校支援の指標として、改善率も重要だが、それ以上に支援率を高めることが必要と考える。令和3年度の文部科学省の調査で、不登校児童生徒の36.3%が支援を受けていないという発表があった。支援を受けていない児童生徒を0にする取組が求められる。

いじめの重大事態の件数の増加に伴い、調査委員会や第三者委員会が設置されることが増えており、当協会も、県内の各自治体に委員の推薦を行っている。そうした事後的な対応以上に、いじめ防止の取組が求められる。心理専門職の立場でも貢献できる点は多いと考えている。スクールカウンセラーのより積極的な活用も含めて検討願いたい。

私立学校で緊急事案が生じた際は、学校ごとの対応となるため、当協会に心理師の派遣依頼が来ることがある。可能な限り対応していることについても情報共有したい。

(小川委員)

人権擁護委員は、月に1回相談を行い、2～3か月に1回、法務局に行き、電話相談を行っている。他に幼稚園、保育園、小学校に出向き、人権教室、人権の花植え等を行っている。人権教室では、DVD、紙芝居を見せて、いじめについて子どもたちに話をしている。

(沢崎委員長)

本日欠席の委員からの情報提供があったら事務局から紹介してほしい。

(事務局)

子ども会育成連絡協議会の望月委員とPTA協議会の菅野委員から情報を預かっているので紹介する。

望月委員から

子どもたちの「自由な環境空間」すなわち公園や広場の減少は、群れ遊びの機会が減り、遊びの創造や子ども世界の社会性を学ぶことが難しい時代になったと思う。子どもたち自身で工夫して群れ遊びをできる環境を作って上げたいと思う。

菅野委員から

スマートフォンを所持する子どもの低年齢化が進み、ネットトラブルもそれに伴って早く起こるようだ。身近な子どもたちからも、SNSのグループに入れてもらえない、写真

を勝手に撮られて加工された、などといった話を聞く。

(沢崎委員長)

他の委員からの発言があったら、願います。

(神尾委員)

いじめの具体例については、重大事態の調査報告書がインターネット上にも掲載されている。最近では宮代町の事例があるので参考にするとよい。弁護士が委員になることがあるので、第三者委員になるための研修も行っている。

重大事態の対応も大切だが、予防の取組が大切だ。小・中学校でいじめ防止教室を実施しているが、正義感の強い子が多いと感じる。その中には、被害者にも非があるから仕方ないというとらえ方をする子が多い。予防としては、どのような状況でもいじめはいじめと判断できようように指導することが必要だ。

(西脇委員)

私たちの塾には、学校で不登校の生徒も通っている。その子の痛みを理解し、活躍の場を作り、自信をもたせるようにしている。

先程、不登校児童生徒の支援率、改善率について話しがあったが、さいたま市の現状について教えてほしい。

(総合教育相談室)

改善率の数字は持っていない。支援率については全国で36.3%が支援を受けていないとのことであったが、さいたま市では、令和3年度の不登校児童生徒約1600人のうち約400人が支援につながっていなかった。これを改善するために取り組んでいるところだ。

(沢崎委員長)

各学校における取組、子どもの状況について紹介していただいたが、副教育長からの発言をお願いします。

(副教育長)

本日は、貴重なご意見をたくさんいただいて、ありがたい。今回は、発生件数、発生後の取組についての説明に力を入れたため、予防のための取組について質問をいただいた。予防のための取組についても教育委員会は力を入れているので、次回の宿題としたい。地域、関係機関からの意見については、今後、どのような形でより具体的な内容について説明できるか、より発展的な協議ができるよう、事務局とも相談しながら検討していきたい。

(沢崎委員長)

最後に、副委員長の久世委員に発言をお願いします。

(久世委員)

「いじめのないまちづくりネットワーク」の役割を考えて、本日は、敢えて質問した。ポスターをお手元に配付した。これは、第二東中学校のPTAが作成したもので、地域のコンビニや回転寿司店等に貼ってもらっている。地域の目で子どもを見守り、地域で子どもを育てる。青少年育成さいたま市民会議の会長として、各地区の地区会やPTAでこういう活動をしてほしいとお話ししている。

次回は、各団体でこのように取り組んでいるという話を皆さんにしていきたい。

(沢崎委員長)

時間になったので、協議を終了する。

今回は行政からの説明が中心だったので、次回は各機関・団体の取組を中心に協議を進めていきたい。これで、議長の任を解かせていただく。

## 6 その他

事務局から、いじめ防止の啓発品について、第2回いじめのないまちづくりネットワークの日時・会場について連絡をした。

## 7 閉会